

<策定代表者会> 平成 26 年 2 月 24 日

- 片山議員（前略）前回の確認としては、C 案になるとしても、前文に少数会派の保障を入れるという確認はされているということで、よろしいですね。
- 森戸座長 そうですね。そういうことでいいかなと思っております。

<第 2 班協議結果> 平成 27 年 2 月 9 日 齊藤議員メール要旨
議会基本条例の【前文】第 2 班としての協議結果。

8 月 28 日 2 班としての決定を目指したが合意に至らない部分があり、その部分は各論併記とした。

※ 段落ごとに検討した結果

（中略）

【第四段落】 不一致（三択）

それらを実現するために、小金井市議会は、市民に開かれた議会、自由かつ達な質疑を保障する議会、少数会派の活動を保障する議会等を目指し、議会改革に努めてきました。

第一案：上記前文

第二案：下線部分を「全議員に対等平等な」とする

第三案：「議員平等」とする

（後略）

<策定代表者会> 平成 27 年 1 月 26 日

【素案たたき台】

小金井市議会は、市民に開かれた議会、自由かつ達な質疑を保障する議会、少数会派の活動を保障する議会などを目指し、日々議会改革に努めてきました。

【正副座長案】

それらを実現するために、小金井市議会は、これまで市民に開かれた議会、自由かつ達な質疑を保障する議会、全議員に対等平等な議会等を目指し、議会改革に努めてきました。

【この段落に関する議論】

1	白井	◆ 座長提案は大きくはずれてないが、これまでのことを説明するものとして「少数会派の活動を保障してきた」という表現は、過去、議員研修会（平成 23 年 10 月）の記録をみると、小金井市議会の特徴として、森戸議会運営委員長も述べてきている。シンポジウム（平成 24 年 8 月）では、宮下副座長も同様の内容を述べている。
---	----	---

2	森戸	◆ 少数会派、全議員に対等平等、どちらか一方を条文に残し、もう一方を逐条解説に残すという方法もある。
3	片山	◆ ここは、「これまで」という過去の説明をしている文章である。小金井市議会の特徴をわかりやすくするため、「少数会派の活動を保障する」という表現を使ってきた。 「全議員に対等平等」というのは新しい考えで、これから目指すべき考え方だと思うが、これまではやっていないことではないか。
4	中山	◆ いままでの長い間の議論の結果がこのような提案ででてきている。折り合いがつかないなら、不一致ということになり、この三行は削除することになるのでは。または、「全議員に対等平等」という部分を削除するのか、とうことになる。 ◆ 小金井市議会は、少数議員の意見も、できるだけ聞いていこうということやってきたものだ。最終的には、議員は平等である。採決（採決）は各議員個人で決めることだ。
5	鈴木	◆ 議論の進め方だと思う。第 2 班から 3 案で戻してきたもの。多数会派と少数会派との間で、いつまでやっても平行線となり、まとまらない議論だろう。 ここは、正副座長としてすっきりまとめたものであると評価している。この座長案で一致できれば良い。 ◆ この議論に今後どのくらい時間かけられるのか、という話だ。
6	森戸	◆ 第 7 条にある「全会派の活動を保障し、会派間の公平性を確保しなければならない。」は、「これから」ということを表すものである。 他方、前文のこの部分は、「これまで」の認識を表している、事実として説明をしてきた文面である。前文は、「少数会派の活動を保障する議会をめざし、議会改革に努めてきた」という表現にしてはどうか。 ◆ 一致した第 7 条では、「全会派の活動を保障し、会派間の公平性を確保しなければならない。」とある。この逐条解説で、「議員数に関わらず、全会派の活動を保障し」という表現にすることでどうか。
7	斉藤	◆ 前文については、市民にとって最善の対応をとるために、こういうことをやってきたというものである。そのために「少数会派も多数会派と比較して、平等に近い扱いとなっていた」表現を支持したい。せめて、前文の逐条解説の中に、そういったことを記述してもらいたい。
8	小林	◆ 確認したい。今まで、少数会派の活動を保障する議会を目指してきたのか、それとも、全議員に対等平等な議会を目指す中で、少数会派の活動を保障してきたのか。（後半の方だ、と座長）それなら、「全議員に対等平等な議会」という表現をベースに考えていってはどうか。

前文議論の経緯（平成 27 年 1 月 26 日）

9	水上	◆ 「全議員」を「全会派」へ変更したらどうか。会派間の対等平等を 図ってきた経緯がある。「全会派の対等平等・・・」の方が、事実に近い のでは。
10	林	◆ 「全議員に対等平等な議会」という表現は唐突に感じる。小金井市 議会は、会派を中心に動いてきた。この議会の特徴を表すには「少数 会派の活動を保障」という表現がふさわしい。
11	片山	◆ 前文に「少数会派云々」が入らないなら、第 7 条の条文のほうを再 検討することになる。 ◆ 「自由闊達な質疑を保障する議会など議会改革に努めてきました。 これからは全議員に対等平等な議会をめざしていきます」と入れる。 ◆ 逐条解説で、「少数会派の活動を保障する」という表現をいれるとい うなら考えられる。
12	森戸	◆ 小林さんの提案である「全議員に対等平等な議会を目指す中で、少 数会派の活動も保障してきた」という表現ではどうか。
13	片山	◆ 「全議員に対等平等な議会を目指しながら、少数会派の活動も保障 してきた」ではどうか。ただ、「全議員に対等平等な議会」で具体的 なものが（頭に）うかばない。
14	百瀬	◆ これまでやってきた市議会の特徴を素直に表すには、「少数会派の活 動も保障してきた」が一番良い。元々の案に戻すべきだ。

- ※ おおむね発言順に沿って、時系列的に並べた。
- ※ できるだけ、発言した人の主張をまとめて表記した。
- ※ 他の発言に対する批判的な発言は、なるべく載せないようにした。

以上